



# 湯河原ロータリークラブ WEEKLY REPORT



2019年11月8日(金) 天気：晴れ  
例会 第2786回 合唱：我らの生業

会長 平間 章弘  
幹事 室伏 学

事務所：神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内  
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716  
例会場：ニューウェルシティ湯河原 静岡県熱海市泉 107  
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401  
例会日：毎週金曜日 12:30～13:30

## 会長挨拶

今日11月8日は「いい歯の日」です。平成5年以前は60歳で24本以上という目標を持っていましたが、日本歯科医師会は約30年前「いつまでもおいしく、そして楽しく食事をとるために、口の中の健康を保っていただきたい」という願いを込めて、厚生労働省と共に「8020運動-80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」を推進しています。その8020運動の一環として11月8日を「いい歯の日」と設定しました。

8020達成者は、運動開始当初は7%程度で、平均残存歯数は1人当たり4~5本でしたが、年々増加し、現在厚生労働省が発表した歯科疾患実態調査では、達成者は半数以上となり、多くの方が80歳で20本以上の自分の歯を保っています。この事から推察するに、多くの方が、歯が健康である重要性に気付き始めている証であると思われまふ。

歯が健康であっても、今後は「オーラルフレイル」にも目を向けましょう。「フレイル」とは高齢となって体の働きが弱くなる、軽度の衰弱です。つまり健康と要介護の中間状態です。しっかり噛めない、うまく呑み込めないなど、口の機能の衰えを「オーラルフレイル」と呼び、全身のフレイルとも大きく関わってきます。歯の口腔機能の健康が健康長寿に繋がると言われていますので、8020達成の次のステップとして、口腔機能の維持にも力を入れましょう。

## 幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1. 11月のロータリーレート 1ドル108円  
ガバナーより

1. 第7回日台0-列-親善会議福岡大会のご案内

日時：3月6日(金)14時~

場所：ホテルニューオータニ博多

登録料：22,000円・同伴者1,000円

登録期限：11月29日(金)

2. 2020-21年度地区補助金プロジェクトの申請要項と申請書を地区HPにアップロードいたしましたので、お知らせ致します。

3. 2020年4月5日(日)に当地区で開催されるポリオ根絶チャリティーコンサート「音楽の花束」についての、企画書と、チケット配布要領をお送り致します。

連絡事項 なし

出席報告	ゲスト 1名 ビジター 0名	会員 24名
	欠席 5名(免除者 0名)	前回の修正出席率 86.96%
	出席率 79.17%	前々回の修正出席率 83.33%

事前メイクアップ 0名

ゲスト ゆがわら中央高等学院 小濱琉土朗様

会員誕生日 石倉幸久君 (11/7)  
 会員誕生日 常盤章夫君 (11/10)  
 ご夫人誕生日 西山敦君 (徳子様・11/3)  
 小倉高代君

本日はゆがわら高等学院第1期生をお連れしました。社会見学の一環なので、これからもおじゃまする事がございますが、何卒宜しくお願いします。

南谷桂子君

みなさん、こんにちは。桂樹庵です。11月23日24日に岐阜県の酒蔵“だるま正宗”の七代目蔵元をお招きしてフォアグラと熟成古酒のマリ

アージュを楽しむお食事会を開催します。185年間の歴史を誇る素晴らしい日本酒です。よろしくお祈りします。

深澤昌光君

先週寄付金をいただきまして有難うございます。千歳川JR下流での「菜の花」の種まき予定の10月29日が悪く、30日に延期されましたが、湯河原小学校6年生60名と「菜の花会」・他のボランティアと無事終了しました。今日様子を見てきましたが、A~E区画5区間とも順調に芽を出してきました。来年2~3月の花が咲きみだれるのが楽しみです。

平間章弘君 本日、11月8日は「いい歯の日」です。

## 卓話：山本 明峰君

「湯河原町に在る、源平合戦跡地」  
 「しとどの窟」

湯河原駅から、伊豆箱根バス・箱根登山バス 元箱根行  
 「しとどの窟」バス停下車 徒歩 20分

土肥次郎実平の妻は、石橋山合戦に敗れたと聞くと源頼朝や実平ら、源氏方の将兵が散り散りに潜入している杉山や「しとどの窟」へ、女ながら身の危険を冒して、農民の老女の如く変装し、お供は目立つゆえ、ただ一人食糧を手や背にして、暗い山路をしのび忍びに届けたのであります。頼朝一行8名らが敵の大軍の重囲に落ち入りながらも、深山幽谷の中に数日間も潜伏して無事に脱出できたのは、実にこの老妻のおかげであったということです。

のちに、実平が亡くなったあとも、実平の妻は度々、鎌倉の將軍邸に招かれ、頼朝や妻政子らと、この時の苦労話をして感謝されたということです。現在、湯河原駅前には、武者姿の土肥実平と食べ物を持つ妻の銅像があります。

さて、その潜伏期間中、頼朝主従は、山中を箱根神社に向かいますが、追っ手が迫っていることを知り、8月25日再び杉山の密林に潜入し、しとどの窟の谷に下りて岩穴の中で、薄氷を踏む心地で数日を過ごしましたが、実平は、若い弱気の頼朝を励まし、力づけることにも気がつかれました。

なお、梶原景時が頼朝・実平らを見逃したのは、大杉の洞穴とも、このしとどの窟とも伝えられています。

「小道地蔵寺屋敷堂跡」

星ヶ山公園の駐車場から山林作業用の一車線舗装道を通り、約800mの所に「小道地蔵跡」の駐車スペース有り。

土肥の杉山に潜入して大杉の洞穴やしとどの窟に

隠れて逃げ延びた頼朝・実平らは、杉山を出て真鶴岬に向かって降りようとして、小道越という険しい岩山を登って峠にたどりつき、後を顧み見ると、いつの間にか敵兵が大勢で近くまで迫って来ていたのです。峠の下を見ると、小道地蔵堂があったので、急いで堂内に逃げ込んだが、堂内には純海上人が一人で仏前で念仏を唱えていました。

頼朝主従の危急を知り、「人里遠い小堂で、身の用心の為の穴蔵を構えてあるゆえ、その中に隠れなさい。」と8人を穴蔵の中へ入れ、自分はその上に座禅を組んでわざと居眠りをしておるふう装っておりました。

間もなく、敵將大庭景親が大勢の兵を率いて堂内に乱入して来ました。上人を堂前に引き出して、「頼朝一党を何処かに隠したに違いない、白状せよ」と、散々に打ちすえましたが、純海上人は白状しません。景親は、遂には庭前の木に純海上人をつるし拷問にかけましたので責め苦に上人の皮膚は破れ血に染まり気絶してしまいました。大庭は、「これほど責めても白状せぬは本当に知らぬからだ」と思い、部下を率い立ち去りました。敵軍が立ち去った様子に、頼朝は穴蔵から出て庭前を見ると、純海上人の無惨な姿に驚き、駈けより膝の上に抱きかかへてヨロイの袖を絞る程に涙を落としたが、その涙が上人の口に入って、不思議や息を吹き加えたのであります。

頼朝は「若し存命して世に身を立てた時には、この堂を修築し、今日の報恩は必ず果たすぞ」と、上人に堅く約束して、真鶴岬をさして下って行きました。

のちに征夷大將軍となった頼朝は、旧恩を忘れず、純

海上人を鎌倉に召して旧労をねぎらい、塩田五千歩を寄付して、小道地蔵堂の新しい建築を命じ、寺号も小道山頼朝寺と賜ったのであります。